maxell

Super DLTtape™ Data Cartridge

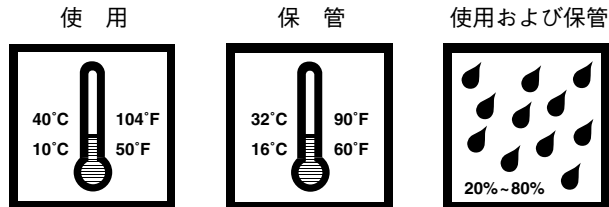
使用説明書

カートリッジ操作および保管

結露を防止し長持ちさせる為、カートリッジは以下の状態でのみ使用、保管して下さい。

使　用

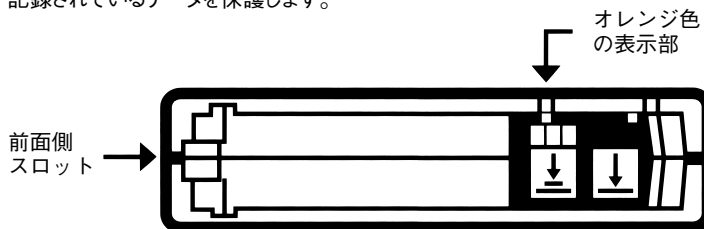
保　管

使用および保管

カートリッジの取り扱い

カートリッジは注意して取り扱って下さい。カートリッジを落とすと破損する恐れがあります。
ラベルは下図のように前面側スロットにのみ挿入して下さい。カートリッジの天面、底面、左右面、奥側にはラベル等を貼り付けないで下さい。

- ケースに入れた状態で、カートリッジを持ち運ぶ場合には、ケースの蓋が必ず閉まっていることを確認して下さい。こうしておくとケースが開いて、カートリッジが落ちるのを防ぎます。
- ケースに入れた状態で、カートリッジを2巻以上持ち運ぶ場合には、ケースを必ず同一方向に合わせて、ケース蓋側の凹部とケース底側の凸部がかみ合うようにして下さい。こうしておくとケース同士がズレて落ちたりするのを防ぎます。
- カートリッジの使用および保管には上記の環境条件を必ず守って下さい。品質劣化の原因となります。
- 使用しない時は、カートリッジを専用ケースに正しい方向に入れて保管して下さい。保管する場合、直射日光の当たる場所や湿気の多い場所を避けて下さい。
- 強い磁気を発生するもの（PCモニター、電気モーター、ステレオスピーカーなど）の近くにカートリッジを置かないで下さい。使用出来なくなることがあります。
- テープには直接触れないで下さい。チリ・ホコリまたは皮脂によりテープが汚れ、テープ性能に悪影響を与えることがあります。

書込み防止機能

書込み防止スイッチが記録されているデータを保護します。

 スイッチを左に押すと、カートリッジにデータが記録されるのを防止します。オレンジ色の表示が現れます。

 スイッチを右に押すと、カートリッジにデータを記録することができます。オレンジ色の表示が隠れます。

書込み防止スイッチが左右の、どの位置にあっても、カートリッジに記録されているデータの読み取りは可能です。

テープの耐久度

Super DLTtapeデータカートリッジはオフィスまたはコンピューター室内環境でSuper DLTtapeデータカートリッジ用ドライブで使用する場合、平均的に1,000,000回以上のヘッド・パス回数を超えるものとされています。

長期間の保存

長期間保存するデータが記録されているカートリッジは、専用ケースに入れ、23℃±5℃、相対湿度50%±10%の室内環境に保管して下さい。

注意

このカートリッジは Super DLTtape ドライブ用に設計されたものです。

日立マクセル株式会社
〒102-8521 東京都千代田区飯田橋2-18-2
http://www.maxell.co.jp

2005年1月現在